

オートボディプリンターを導入し、トラック装飾サービスを安価に提供

車のボディをはじめプラスチックや金属板など様々な素材にプリントができるオートボディプリンター。同プリンターを導入することにより、高精細な広告を安価で提供し、自社のサービス拡大と顧客の売上増加を図る。耐久性に優れているだけではなく、ラッピングフィルムに比べ大幅なコストダウンになる点などをアピールし、顧客の掘り起こしに努めている。

有限会社カーライフジャパン

- 代 表 者／代表取締役 山下 美敏
- 設 立／平成6年3月
- 所 在 地／阿蘇郡西原村小森3588
- 資 本 金／300万円
- 従業員数／7人
- 業 種／自動車整備業
- T E L／096-279-3692
- F A X／096-279-4079
- U R L／<https://www.carlife-japan.com/>

事業課題と申請の経緯

運送トラックは、“動く広告塔”としての役割を担うことが可能であるが、従来の方法では、コスト負担が大きい。そこで、当社はオートボディプリンターを導入することにより、高精細な広告を安価で提供し、自社のサービス拡大と顧客の売上増加を図り、運送業界全体の活性化に貢献したいと考えた。オートプリンターとは、車のボ

ディをはじめプラスチックや金属板・ガラス・テント生地など様々な素材へのプリントが可能となるシステムである。シールやラッピングフィルムでは貼りにくかった凹凸部分や湾曲部分、貼れない部分にもプリントが可能で、好みの写真やデザイン画像を、直接プリントするので鮮やかな仕上がりになる。



オートボディプリンター



オートボディプリンターによる施工事例1

課題解決のプロセスと成果

コンピュータグラフィックによる高精細なデザイン画像を車輻に直接プリントできるオートボディプリンターの導入により、人の手による塗装やラッピングではなく、自動制御によるプリントを実現することが確認できた。これにより、高精細な広告を安価で提供できる体制が構築できた。また、試運転による検証の結果、従

来の塗装やラッピングに比べ施工時間が3分の2程度に抑えられ、また、品質においても良質に仕上がる事を確認できた。費用面においても、従来より2分の1程度に抑えられると見込んでいる。自社のサービス拡大と顧客の売上増加を図り、運送業界の活性化に寄与する事業を展開する体制が整備できた。

今後の展望

平成28年9月期より、本格的に稼働し、年間で24台、月あたり2台を目指す。月あたり2台という台数は、月の入庫60台のうちの30分の1であり、まだまだ需要の拡大が見込め、関心が高い顧客に丁寧な案内を繰り返すことで、十分達成可能と考えられる。特殊な塗料を使用しプリントしているため、退色・色やけが少なく、洗車して

もダメージがなく耐久性に優れている点や、特殊液を使うことでボディを傷つけることなく消すことが可能なので、何度でも書き替えが可能な点、さらにラッピングフィルムに比べ大幅なコストダウンになる点などをアピールし、顧客の掘り起こしに努めたい。

求める事業パートナーと支援策

今後は市町村の観光資源をPRするツールとして活用していただけるよう行政に働きかけたい。またボディ表面を広告媒体として貸し出す

ことで、新しいキャッシュポイントを生み出すビジネスモデルを構築したい。



オートボディプリンターによる施工事例2

自社のサービス拡大と顧客の売上増加を図り、運送業界の再興に寄与したい



専務 山下 圭介氏